

～ 仙台地域の復旧復興情報を発信！ ～

## 原木露地シイタケの早期出荷制限解除を目指して！！

### 【林業振興部】

仙台市太白区秋保に住む佐藤昭夫さん(74)は、会社を定年退職後、友人の勧めで原木露地シイタケ栽培を始めました。また、実母が手がけていたマイタケ、ヒラタケなどの菌床栽培も引き継ぎ、主にJAの直売所やスーパーに卸しているほか、秋保大滝に通じる県道沿いの自宅前の直売所でも販売を行っています。

主力となる原木露地シイタケは、毎年、15,000本程の原木に植菌をして規模拡大を図ってきており、安定的な生産が見込める予定でしたが、東日本大震災による原発事故、放射能汚染で、約90,000本のホダ木(植菌後の原木)が出荷制限指示によって全て廃棄を余儀なくされてしまい、一方で東京電力からの損害賠償はなかなか進まない状況にありました。

しかし、この間に多くの顧客から「早く佐藤さんのシイタケを食べたい」との励ましの声が寄せられ既存のビニールハウス内での施設栽培や鉄道コンテナを活用した菌床栽培を始めるなどして、生産活動を継続しています。

このような中、先頃「原木きのこ栽培管理に関するガイドライン」が国から発表され、既定の生産管理のもとで生産されたキノコが基準値以下であれば、出荷制限解除が可能となったことから、「生産管理と放射能検査を徹底し、平成26年春の解除を目指す」と意気込んでおり、シイタケを待ち望む顧客の願いに応えるべく、出荷制限解除に向けた取組が一気に加速しました。



自慢の菌床マイタケを手にする佐藤昭夫さん

## 「仙山交流味祭 in せんだい～秋の恵み～」開催

### 【地方振興部】

10月2日、3日の2日間、仙台市青葉区勾当台公園市民広場を会場に「仙山交流味祭 in せんだい～秋の恵み～」が開催されました。

「仙山交流味祭」は、仙台地域・山形県村山地域の特産物を生産者自らが販売する産直市であり、両地域の交流を深めようと平成15年に始まり、今年で11年目を迎えました。

今回は、仙台地域から21店舗、村山地域から24店舗が出店し、はらこめしやずんだ餅、米沢牛コロッケや秋野菜、果物など様々な「秋の恵み」が販売されたほか、ステージでは、山形舞子による山形の観光PRや、「仙台・奥州おもてなし集団伊達武将隊」による地域の「秋の恵み」のPR

2日目は好天に恵まれ、会場が賑わいました

が行われ、楽しさ一杯のイベントとなりました。初日は雨に見舞われたものの、2日目は天気も持ち直し、2日間併せて17,500人の御来場者をお迎えし、盛況のうちに終了することができました。

仙台地域・村山地域には、秋はもちろんのこと、四季それぞれのおいしい恵みがたくさんあります。皆様もぜひ仙台地域・村山地域に足を運び、とれたて新鮮な旬の味覚を楽しんでください。

## 津波で流された七ヶ浜土地改良区事務所を再建する起工式が行われました

【農業農村整備部】

東日本大震災の津波で事務所が流失してしまった七ヶ浜土地改良区(※1)の事務所再建工事の起工式が去る10月10日に行われました。

七ヶ浜土地改良区は、仙台地域において東日本大震災の津波により事務所が流されてしまった唯一の土地改良区であり、震災後は緊急的に排水機場の操作室や休憩室で土地改良区の事務や農地・農業用施設の復旧・復興支援業務等の執務を行っていました。今回、国や県、七ヶ浜町の支援のもと事務所の再建工事を行うこととなり、工事関係者のほか、県、七ヶ浜町、七ヶ浜土地改良区、JA 仙台など関係機関の出席のもと起工式が開かれ、工事の安全と七ヶ浜町の農業の復興を祈念しました。



事務所再建工事起工式の様子

七ヶ浜町の復旧・復興は多くのボランティアの方々の支えのもと進められてきました。農地の復旧についても、農地に広範囲かつ深く混入したがれきの除去作業がボランティアの方々の力添えを受けながら進められ、農地復旧工事と除塩工事が本年9月末をもって完了しています。今後は、まだ完了していない排水機場などの農業用施設の復旧工事を進めるとともに、農地の大区画化や担い手の育成などにより、単なる復旧にとどまらない農業農村の復興を図っていきます。

※1 土地改良区とは、土地改良事業を実施することを目的として、地域の関係農業者により組織された団体で、農業用排水施設の管理等を行っています。

## ボランティアの皆さんに感謝～七ヶ浜農地復旧「感謝祭」～

【農業振興部：仙台農業普及改良センター】

七ヶ浜町農地復旧「感謝祭」が、10月19日七ヶ浜町市民農園「ほのぼの農園」を会場に、県内外のボランティア約300人が参加して開催されました。

東日本大震災により、町内農地のほとんどが被災した七ヶ浜町には、これまで延べ20,000人のボランティアの方々が農地復旧の支援に訪れています。大きながれきが撤去された後の小さながれきの手拾いや市民農園の整備などに、多くの方々の支援があり、今年度から、復旧された水田で水稻58haと大豆19haが作付され、3年ぶりに稲刈りが行われました。畑でも野菜などが栽培され、「七の市」などでの販売が再開されました。



ほのぼの農園の枝豆を収穫体験する参加者の皆さん

このように無事に収穫を迎えることができた感謝の気持ちを、ボランティアの皆さまにお伝えするために、町産業課と町ボランティアセンターが中心となり感謝祭実行委員会を組織し準備を進めてきました。

感謝祭では、最初に渡邊町長から感謝の言葉が述べられ、参加者には枝豆のもぎ取り体験や七ヶ浜町産新米「つや姫」の試食、町内チアグループや県外のダンスグループによるアトラクションなどを楽しんでいただきました。

閉会にあたり、当日100回目の来町となる千葉県男性からの激励の言葉をいただき、それにこたえるかたちで我妻副実行委員長から「七ヶ浜農業を新しい形で発展させていくことが皆さんへの恩返しである」と今後の復興に向けた決意が語られ感謝祭が閉じられました。

七ヶ浜町では、今後ほ場整備事業が行われ、効率的な農業生産を目指した生産体制の整備などが進められます。

## 塩釜の美味しいものを食べよう！塩釜魚市場「どっと祭り」が開催されました

### 【水産漁港部】



サンマつかみ取りに挑戦



格安販売コーナーに並ぶ買い物客

水産都市・塩竈市で水揚げされる魚介類や水産加工品を販売する、第5回「塩釜魚市場どっと祭り in 仲卸市場」が10月6日、塩釜水産物仲卸市場を会場に開催され、過去最多となる約30,000人の買い物客が訪れました。

この祭りは塩竈市魚市場開設80年を記念して始まったものですが、震災で魚市場が被災し、建て替え中のため、昨年からは仲卸市場を会場として開催しているものです。

当日は、旬を迎えた「三陸塩竈ひがしもの」のメバチマグロや塩釜の水産加工品が市価より安く販売されたほか、サンマとタラのすり身が入った仲卸サンタラ汁の無料提供、三陸塩竈ひがしもの鉄火丼、塩釜おでんなどの格安販売コーナー、ジャンボ鉄火巻き作りやサンマつかみ取り体験に長蛇の列ができるなど、祭りは大いに賑わいました。

秋から冬にかけてはおいしい水産物が水揚げされる季節です。塩釜には「三陸塩竈ひがしもの」を始めとする魚介類や多彩な水産加工品がそろっていますので、皆様にはぜひ塩釜に足を運び、塩釜の味を堪能していただきたいと思います。

## 県総合畜産共進会で「奇跡の牛」の子牛が名誉賞を獲得！

### 【畜産振興部】

9月14日にみやぎ総合家畜市場(美里町)で開催された宮城県総合畜産共進会(※1)(出品頭数：乳用牛57頭、肉用牛89頭)において、宮城県農業高等学校(以下、宮農高)の出品した「ミヤノウ ゴールドロイ レジエンド号」が乳用牛未経産(※2)の部で名誉賞および農水省生産局長賞に輝きました。これは、未経産の部・第1区～5区(※3)に出場した39頭中トップという素晴らしい成績です。

また、宮農高が経産(※4)の部・第7区(3歳未満)に出品した「ミヤノウ シーバー サニー号」が最優秀賞(第7区に出場の12頭中トップ)に輝くなど、本共進会での宮農高の活躍は目覚ましいものがありました。

受賞牛2頭はいずれも、東日本大震災で津波に遭いながらも生き延びた20頭の「奇跡の牛」たちから生まれた牛とあって、会場からは大きな拍手を受けていました。



名誉賞決定後の記念写真撮影風景

※1 畜産共進会：家畜の体型や資質などを比較、審査、表彰を行う。

※2 未経産：まだ出産を経験していないこと

※3 第1, 2区：生後12ヶ月未満、第3区：生後12ヶ月以上～16ヶ月未満、第4区：生後16ヶ月以上～20ヶ月未満、第5区：生後20ヶ月以上～24ヶ月未満

※4 経産：出産を経験していること

## 祝！農地を守る新農事組合法人が復興の稲刈り



青空のもとでの稲刈り作業

### 【農業振興部：互理農業普及改良センター】

岩沼市では、津波の被害を受けた沿岸部に新しい3つの農事組合法人が立ち上がりました。この地域では、震災で田植え機などの農業機械が使えなくなり、苗をつくるハウスもなくなりました。水田を今後どうするか農業者が集まって話し合いを繰り返し、平成25年に設立されたのが「林ライス」、「寺島生産組合」、「玉浦南部生産組合」です。

震災後2年間は土が塩分を含んでいて稲の栽培ができませんでしたが、今年は除塩作業が終わって経営を再開することができました。「もう稲のつくり方忘れたわー」と笑いながら田植えをした水田が今年は黄金色に輝きました。復興交付金事業で借り受けたコンバインでの刈り取りにも笑みがこぼれます。

法人経営では、これまで経験したことのない規模の稲や大豆の作付けに加え、労務管理や会計管理も勉強しなければいけません。「儲かる経営ができれば後継者につなぐことができる」と、心に描く将来の法人の姿を目指してチャレンジが続きます。

## おすすめイベント情報

### ■松島紅葉ライトアップ■

日時：10月26日(土)～11月24日(日) 午後5時30分～午後9時

場所：円通院・瑞巖寺洞窟群・観瀾亭・天麟院・松島湾

内容：円通院庭園を中心に観瀾亭、瑞巖寺洞窟群などをライトアップします。光を受けて鮮やかさを増す紅葉の中、そぞろ歩きをお楽しみください。

問 松島紅葉ライトアップ実行委員会(一般社団法人松島観光協会) Tel：022-354-2618

### ■第3回山元町ふれあい産業まつり■

日時：11月23日(土) 午前10時～午後3時

場所：山元町役場前広場

内容：山元町の、いちご、りんご、ホッキ貝などの旬の特産品が味わえるおいしいイベントです。

復興支援ブースでは全国の特産品も大集結します。

問 山元町産業振興課 Tel：0223-37-1119

### ■島田飴まつり■

日時：12月14日(土) 午前9時～

場所：吉岡八幡神社

内容：毎年恒例の縁結びのお祭りです。この日境内で売られる「島田飴」(1個1,000円・限定販売)は、このお祭りではしか買えません。江戸時代からこの飴を買って帰ると良縁を授かるという言い伝えがあります。飴販売の前の花嫁道中も見ものです。

問 くろかわ商工会 Tel：022-345-3106

★ 読者の皆さまからのたくさんの明るい情報をお待ちしております！

お問い合わせ先)宮城県仙台地方振興事務所  
地方振興部(担当:鶴飼, 山本)

(HP) <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/> (E-Mail) [sdsinbk2@pref.miyagi.jp](mailto:sdsinbk2@pref.miyagi.jp) (TEL) 022-275-9140